

サイトライセンスソフト・ダウンロードシステム

杉谷 賢一 内布 恵美 木田 健 林 恵里 辻一 隆
総合情報基盤センター

[概要]

本学全体でサイトライセンス契約をしているソフトウェアを、CAS 認証を通して個人でダウンロードできるシステムを構築しましたので、その概要について報告します。

1 本学で契約しているソフトウェアのサイトライセンス

本広報の「全学計算機システムのリプレース」で述べましたように、現在本学でサイトライセンス契約しているソフトウェアとして次の3つがあります。

1. F-Secure (ウイルス対策ソフト)
2. StarSuite8 (Office ソフト)
3. Mathematica (数式処理ソフト)

このうち、1. と 2. は、学生や教職員が個人で所有する PC でも利用できるライセンス契約となっています。このため、1 万人以上の対象者に対して、安定してソフトウェアの提供できるシステムが必要になりました。

2 ソフトウェアの配布時の要件

サイトライセンスソフトを提供するシステム開発においては、以下の点を考慮しました。

1. オンラインでソフトウェアが取得できる
2. 利用権のある本学の学生および教職員のみが取得できる
3. 学外からも安全に利用できる
4. ソフトウェア取得履歴が残る
5. ライセンス条件を確認してからのみ取得できる

1. は、事務量を減らすために必須の項目です。また、取得する方も、一々どこかの窓口に行かなければならないのであれば面倒ですね。

2. については、本学で運用している統合認証システムである CAS (Central Authentication Service) に対応させることで実現しました。

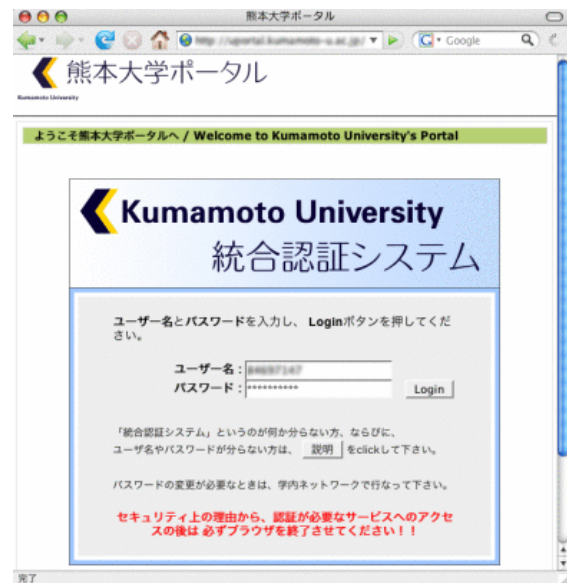


図 1: 熊大の CAS の認証画面

3. については、自宅にある PC ヘインストールでできることが大きなメリットですので、学外ネットワークからの利用が必須となります。また、取得時には個人情報ネットワーク上を流れますので、暗号化を行い安全に通信することが必要となりますので、すべて SSL を用います。

4. および 5. は、ライセンス契約を全学できちんと守るための必須要件です。

3 ソフトウェア取得手順

開発したダウンロードシステムの利用手順は、以下のようになります。

1. 熊本大学ポータルにログイン

まず、本学のポータルサイトにログインします。その際には、先に示した CAS の認証が行われます。認証が通れば、ポータルのトップが画面現れます。次図は、学生がポータルに学外のネットワークからログインした画面です。(本学のポータルでは、ID により学生や教職員

といった区別を行い、表示画面をその属性に応じたものになるように設定されています。)

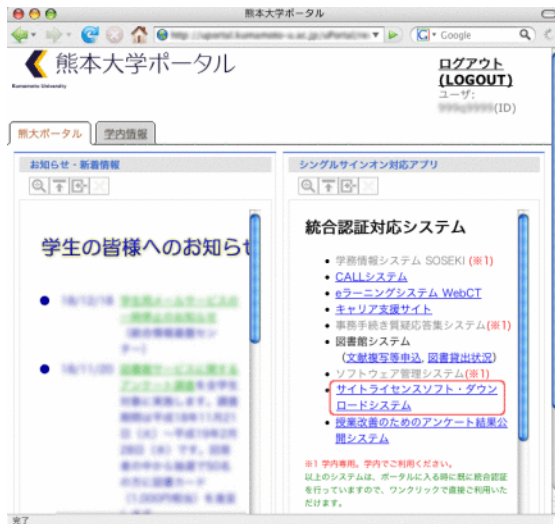


図 2: 熊本大学ポータルにログインした画面

2. サイトライセンスソフト・ダウンロードシステムを選択

ポータル内には、CAS に対応した様々なアプリケーションの一覧が表示されます。ここでは、表記のシステムを選択します。

3. 必要なソフトウェアの選択

本システムでは、現在、StarSuite と F-Secure がダウンロードできるように設定していますので、必要なソフトウェアを選択します。また、この画面から、ダウンロードするソフトウェアの対応 OS 等を知ることができます。



図 3: ソフトウェア選択画面

4. 氏名等の個人情報の入力並びにライセンス要件の確認

現在のところ CAS の認証システムおよび、CAS が参照している LDAP の DB には、氏名等の情報は入っていませんので、氏名や連絡先等の必要最小限の個人情報をここで入力していただきます。ただし、この情報の入力は、本システムを利用する初回のみ必要で、2 度目以降からは、確認ならびに変更すべき項目が発生したときに対象項目を変更するだけで OK です。

更にこの画面で、ライセンス事項を表示しますので、よく確認して了承したときのみ、次へ進むことができます。

5. インストールする PC 等の台数を入力

「デスクトップ PC」「ノート PC」「サーバ機」に分けて、新規に利用する台数を入力します。表示では、現在既に利用中の台数も表示されますので、利用ライセンス数の自己管理も行うことができます。

6. 必要なファイルの選択

OS や利用環境によってダウンロードするバイナリファイルが異なりますので、必要なファイルを指定します。

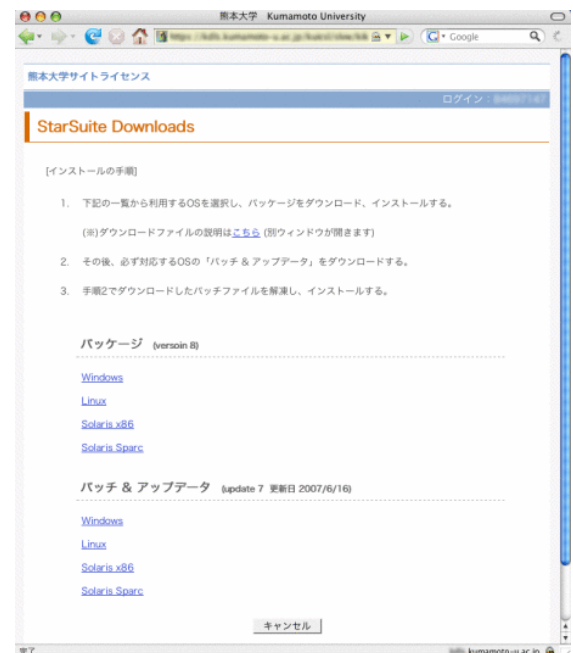


図 4: StarSuite のダウンロード画面

7. ダウンロード

保存するディレクトリを指定して、ダウンロードします。